

研究課題名	網羅的ゲノム解析による膵腫瘍ならびに十二指腸腫瘍、胆道腫瘍の本態解明と新規診断・治療法の開発																				
研究責任者名	広島大学病院病理診断科 教授 有廣光司																				
研究期間	実施許可日 ~ 2025年3月31日																				
対象者	2008年1月から2025年3月の間に、広島大学病院消化器外科で消化器神経内分泌腫瘍を摘出し、余剰試料が保存されている患者さん。																				
意義・目的	消化器神経内分泌腫瘍は、Grade-1、Grade-2、Grade-3に分類されますが、それぞれの発症メカニズムについてはまだ解明されていません。今回、神経内分泌癌（Grade-3）の網羅的ゲノム解析を行い、その成果を基に疾患分類の再考や創薬開発に向けた基盤データの蓄積を目的とします。本研究は国際多施設共同研究です。																				
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報と手術等で摘出した余剰試料を調査して行います。カルテから使用する内容は、性別、生年月、無再発生存期間、予後情報、ホルモン療法の有無と処方された薬剤名、化学療法の有無と処方された薬剤名です。余剰試料は対象者を識別できないように個人情報加工後、大阪大学や国立がん研究センターに情報を集め次世代シーケンサーで解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）																				
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学病院病理診断科 有廣光司（研究機関の長：田中 純子）</p> <p>研究代表機関 大阪大学 谷内田 真一</p> <p>共同研究機関</p> <table> <tr> <td>国立がん研究センター</td> <td>谷内田 真一</td> </tr> <tr> <td>北海道大学</td> <td>平野 聡</td> </tr> <tr> <td>秋田大学</td> <td>後藤 名輝</td> </tr> <tr> <td>東北大学病院</td> <td>水間 正道</td> </tr> <tr> <td>群馬大学</td> <td>調憲</td> </tr> <tr> <td>東京大学</td> <td>柴田 達弘・石川俊平</td> </tr> <tr> <td>東京女子医科大学</td> <td>樋口 亮太</td> </tr> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>林 真路</td> </tr> <tr> <td>京都大学</td> <td>波多野 悦朗</td> </tr> <tr> <td>大阪国際がんセンター</td> <td>高橋 秀典</td> </tr> </table>	国立がん研究センター	谷内田 真一	北海道大学	平野 聡	秋田大学	後藤 名輝	東北大学病院	水間 正道	群馬大学	調憲	東京大学	柴田 達弘・石川俊平	東京女子医科大学	樋口 亮太	名古屋大学	林 真路	京都大学	波多野 悦朗	大阪国際がんセンター	高橋 秀典
国立がん研究センター	谷内田 真一																				
北海道大学	平野 聡																				
秋田大学	後藤 名輝																				
東北大学病院	水間 正道																				
群馬大学	調憲																				
東京大学	柴田 達弘・石川俊平																				
東京女子医科大学	樋口 亮太																				
名古屋大学	林 真路																				
京都大学	波多野 悦朗																				
大阪国際がんセンター	高橋 秀典																				

奈良県立医科大学 庄 雅之
和歌山県立医科大学 山上 裕機
香川大学 岡野 圭一
JCHOりつりん病院 前場 隆志
九州大学 中村 雅史・吉住 朋晴・三森 功士
九州がんセンター 杉町 圭史
Ralph H. Hruban (Johns Hopkins Medical Institutions) アメリカ

委託機関

株式会社エスアールエル 和田 かおり
タカラバイオ株式会社 小松 龍太

外部への試料・情報の提供：

提供先(国立がん研究センター)への提供は、余剰試料と共にパスワード設定された USB メモリを送付することで行います。解析は対象者を識別できないように個人情報を加工した上で、提供先において実施します。

また、現時点では提供先は未定ですが、本研究であつめられたデータはバンクやデータベース等に情報を提供する可能性があります。提供したデータは、国内外の大学や研究所、治療や診断のための薬剤や医療機器を開発する国内外の民間企業による研究開発に利活用されることが考えられます。いずれも場合も特定の個人を識別できる情報は含まれません。

※外国における個人情報の保護に関する制度は以下から参照することが出来ます。

<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

その他、本学において、将来の研究に使用した場合は、広島大学ではその研究に関する情報を現在ご覧いただいている HP (人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開) <https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx> にて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。

提供開始日：実施許可日 (2016 年 1 月 27 日)

試料・情報の管理責任者

国立がん研究センター 研究所 ゲノム医科学分野 分野長 (大阪大学大学院 医学系研究科 がんゲノム情報学 教授：クロスアポイントメント) 谷内田真一

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合や、データベース・バンクに提供された場合には、すでに対象者を識別できないように個人情報を加工済のため、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望が

あれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5590

広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司